

紫 笥

第 39 号



平成 8 年 9 月刊

東京都立文京高等学校同窓会誌

平成8年度同窓会役員

会 長	静谷晴夫 (四B)
副 会 長 (名簿)	榎本幸三 (4E)
〃 (庶務)	林 敏子 (5D)
〃 (集い)	若尾迪治 (10A)
会 計	太田敏夫 (3A)
常任幹事 (企画)	横澤靖夫 (2C)
〃 (会報)	杉本安弘 (12C)
監 査	八木俊雄 (一C)
〃	河野一郎 (2A)
在校OB教諭	太田晶也 (4A)
〃	竹内常夫 (12F)
〃	飯沼美雄 (23C)
〃	渡部 曜 (23H)

期の表示について、漢数字は旧制を洋数字は新制を意味します。

同窓会長挨拶……………	静谷晴夫(四B)	1
平成八年度 同窓会活動概要……………		2
ヘインサイド・ストーリー⇩ 同窓会はこうありたい……………		3
母校だより……………		3
教職員異動……………		4
水谷新校長にインタビュー……………		4
直撃インタビュー⑳ 渡辺隆根氏(10期D)……………		6
会員活動状況など……………		8
へ校史の一コマ⇩ 男子組……………	菅野二郎先生	11
卒業生進路状況……………		12
奨学基金・運営協賛金等協力者名……………		16
予算・会計報告……………		3

目 次

メイクドラマ “同窓生の集い”

懐しい友がおり、新しい友情が生まれる“集い”を開催いたします。
 会員皆様お誘い合わせの上、多数の方々の積極的なご参加をお願いいたします。

記

日 時	平成8年10月20日(日)	午後2時～4時30分
場 所	母校 4階 視聴覚教室(予定)	
内 容	◎ 静谷晴夫 同窓会会長挨拶・水谷 弘 新学校長挨拶 ◎ 懇親会 軽食と飲み物をご用意いたしますので、クラス会・クラブOB 会にもご利用下さい。〔ビンゴ・抽選会〕を行います。	
会 費	3,000円……同封の専用払込通知票をご利用下さい。(締切 10月10日) ◎ 恩師・旧職員はご招待です。是非ご出席の程お願い致します。	

今年より卒業25年の方は御招待 ➡ 23期(昭和46年3月卒)は全員集合!

23期の担任の先生で、当日御出席予定(「出席」とご返事あり)は、
**田崎幾太郎先生、荒井道雄先生、太田泰弘先生、太田三郎先生、松浦桂子先生、
 塩田 徹先生、杉谷治行先生、三浦義幸先生**です。

担当 若尾迪治(10期A)

三年間で運営の基礎はできた。

同窓会活動の思い切った

改革に御協力を！



同窓会会長 静谷 晴夫

六月末の幹事会で、今年度も会長を勤めるようにと
のご指名をいただきました。

三年前の会長就任時に掲げた、当面同窓会がやらね
ばならない事業の中で、名簿のコンピューター化が未
完成であったが、それも、今春、榎本副会長の地味乍
ら根気強いご努力で完成され、来春からは活用出来る
ことになりました。

役員も、昨年までと同じメンバーで小生を助けて下
さるとのことで、頑張らねばと思っております。

母校の文京高校でも、校長先生、教頭先生が交替さ
れ、新たに水谷校長先生、勝部教頭先生をお迎えする
ことが出来ました。同窓生一同、心から歓迎申し上げ
ます。

同窓会も、昨年までで一応運営の基礎ができました
ので、今年度は思い切った改革を加えたいと思ってお
ります。

同窓会活動の基礎をなす幹事の選出については、整
理を行うと共に、十分な協議の上でより活動的な人材
の登用を実施すると共に、同窓生の集いのマンネリ化
防止のための新しい企画、紫筍の内容の検討、学校行
事への協力推進、同窓生諸活動への後援等、役員の間
極的な意欲を、会の改革に反映させたいと考えており
ます。

また、校長・教頭先生を始めとした学校側とのコミ
ュニケーションの推進は当然のこと乍ら、PTA役員
の方々との交流も図りたいと考えております。

学校側のご好意でお借り出来ている同窓会用の部屋
も、今年度は初めて整備を行い、十分に活用する計画
です。

何れを行うにしても、会員の皆様のご協力なしに
は実行出来ません。

会員の皆さんの、更なるご支持をお願い申し上げま
す。

平成八年度 同窓会活動概要

一、同窓会名簿のより正確化と電算化の推進

(一) 住所・氏名・勤務先の変更訂正を「紫筍発行」前(六月)と「新名簿発行」前(十二月)の二回、正確に行う。

(二) 名簿の電算化の推進、電算化した新名簿(卒業したクラス分)をこの「紫筍」に同封しました。旧姓を前に半角で記載したのは、「宛名シール」作成の時旧姓は不要だからです。「紫筍」の送付封筒の宛名も従来手書きでしたが、今回は卒業期の古い方は宛名シール化しております。

〈**会員各位にお願い**〉同封の各卒業級の名簿の空白部分を埋めるように、また誤り・変更がある場合は同窓会宛郵便(電話は不可)にてご連絡下さい。

特に今回は電算化過程で、前の名簿をスキヤナーで読み込んだため、十分注意し修正しましたが、ミスプリントがあるかも知れません。事情ご賢察の上前記同様同窓会宛郵便にてご連絡お願い致します。

また転居通知・転勤通知・結婚通知(改姓・転居を伴う)の最後の一枚を同窓会宛ご送付下さい。

二、会報「紫筍」の発行—内容の充実を図る

前々号より判形を変更しより読みやすく解りやすい同窓生のコミュニケーション誌をめざしております。郵便法で封筒込で(定型50gまで90円)という制約があり(50gを超える)と100gまで190円)スペース的にはこれがほぼ限界です。

内容の充実のため、同窓生の活動状況を極力多数掲載したい。(意外に同窓生の活躍を知らないものです。)著書出版・音楽や演劇等の公演・テレビなどへの出演・展覧会出品や個展・スポーツその他を短くまとめお寄せ下さい。毎年七月上旬迄に封筒の表に「紫筍原稿在中」と書き添えて同窓会宛郵送願います。

三、「同窓生の集い」の開催—23期生はご招待

(一) 今年の「同窓生の集い」は十月二十日(日)母校にて開催いたします。懐古するだけでなく新しい友情が生まれる場でもあります。親しい友人を誘ってご参加下さい。(内容詳細は表紙裏ページを参照)

(二) 今年より卒業後25年を迎えた方々を御招待することになりました。丁度四十年代半ば多忙の中にも人なつかしむ年

齢です。

本年は23期生(昭和46年3月卒)が対象です。今回は七月に決定したため母校教諭の飯沼美雄氏(23期C)、渡辺曜氏(23期H)が中心になって準備をすゝめております。23期生は奮って御出席下さい。

四、同窓会のより一層の活性化

(一) クラス幹事の見直し

クラス幹事(名簿に◎印のついている方は現在三九八クラス約七五〇人おりますが、同窓会とのパイプ役として機能していないケースが多々見られます。企画担当の横澤靖夫氏(2期C)より全クラス幹事に対して往復葉書にてアンケートを実施中ですので、御協力の程お願いいたします。

(二) 同窓会財政のあり方の検討
問題の視点は次頁の「同窓会はこうありたい」に記載しました。

お知らせ

1、「文京高校同窓名鑑」について

「人事新報社」という会社が「文京高校同窓名鑑」というものを出版するようですが、同窓会とは関係ありません。なお「紫筍」でお知らせしないで、販売・集金等を行うことはありませんので、ご注意下さい。

2、払込取扱票が二枚入っております。
一枚は「同窓生の集い会費」(三千元)専用です。出席予定者は十月十日迄にこれをご使用払込み下さい。

もう一枚は、**奨学賛助金**(一口五千元)、**名簿**(四千五百円)購入申し込み、及び**同窓会運営協賛金**の払込みにご利用下さい。払込取扱票には、お手数でも氏名、住所、卒期(名簿ページ)や送金目的をきちんとお書き下さい。

3、同窓会への連絡は郵便で(電話は不可)

同窓会への連絡は「〒170 東京都豊島区西巢鴨一丁目一番五号 東京都立文京高校同窓会」宛郵送にてお願いいたします。母校にて事務の方が「同窓会のメールボックス」に入れ在校OB教諭が開封しております。電話ですと在校OB教諭が授業中などつながらないケースが多く母校に迷惑をかけますのでおやめ下さい。

ヘインサイドストーリー」

同窓会はこうありたい。(役員会の自由討議より)

同窓会役員(氏名は表紙裏ページ上段に記載)は7月20日(土)母校会議室にて「同窓会はこうありたい」というテーマでフリ―ディスカッションを行った。即実施できる項目(例、「同窓会の集い」に卒業後25周年の方をご招待する件)は今年度の活動概要(前ページに記載)に織り込みましたが、議論したま、継続審議となった項目がかなりあります。「同窓会の活性化・改革」をめざす静谷体制の「万年青年」たちの議論の要点をご紹介します。

お神輿は大勢の人が楽しんでかついだ方が良いと思っておりますので、ご意見を同窓会宛お寄せ下さい。

一、組織上の問題点

現在の同窓会会則(左下に記載)は昭和33年に改正・施行されたもので次のような問題がある。

1、クラス幹事(第5条6)が機能していない。

クラス幹事(名簿に◎印付の方)は旧制15期(旧制)中学校入学者で全員男子)と5期15期の男子組は各級一人その他の級は二人(男女各一人)ずつが選出され、現在三九八学級約七五〇人となっている。しかし年度初(四月か五月)の幹事会の出席率は低く通知状も返送されるケースがある。選出方法の問題・転居等の理由はあろうが、本当に活動できる人を選出してもらおうよう本年度は全面的に見直しを行う。

2、常任幹事会(原則として30名)がない

同窓会役員は年度初の幹事会で決定される為、役員が固定化し、しかも十数名で担当しているにすぎない。この「常任幹事会」を機能させよう。また選出に当ってはクラス幹事以外からも選べるようにしたい。

また「原則30名」という規定は昭和33年当時(旧制四期と新制10期)の状況を考えると、「学年幹事」的意味あいもあつたのではとの意見あり。

二、機能上の問題点

パソコン時代、インターネットでホームページを開く位の事を考えよう。

三、財政上の問題点

現在にはほぼ収支均衡しているが、今後新事業を実施すれば経費が必要となる。しかも収入の大半は新卒者の入会金。「入会金」終身会費」と位置づけている。今年度入会金は一万四千元、参考迄に25年前(23期生)は二千

東京都立文京高等学校同窓会会則 (33. 8. 23改正)

- 第1条 (名称・事務所) 本会は東京都立文京高等学校同窓会とし、事務所を母校に置く。
- 第2条 (目的) 本会は会員相互の親睦をはかり、併せて母校の発展に協力することを目的とする。
- 第3条 (事業) 本会は前条件の目的を達成するために、次の諸事業を行う。
1. 総会 2. 名簿・会報の発行 3. その他
- 第4条 (会員) 本会は第三東京市立中学校・東京都立豊島中学校・東京都立文京新制高等学校および東京都立文京高等学校の卒業生と在学したことのある者で希望により入会を認められた者をもって通常会員とし、現旧職員をもって特別会員とする。
- 第5条 (役員および幹事) 本会の役員および幹事の職務を次の通り定める。
1. 会長(1名) 本務を総理し、本会を代表する。
2. 副会長(若干名) 会長を補佐し、会長の事故のある場合は代理をつとめる。
3. 会計(1名) 本会の金銭、物品の収支を正確に記録する。
4. 書記(2名) 総会、常任幹事および幹事会の議事を正確に記録する。
5. 常任理事(原則として30名) 常任幹事会を構成し、会務を遂行する。
6. 幹事(原則として各級1名) 幹事会を構成し、会則に従い、その目的遂行のための立案・審議・確認をする。
7. 会計監査(2名) 本会の会計を監査する。
- 第6条 (役員任期) 役員任期は1年とする。但し留任を妨げない。
- 第7条 (顧問) 本会に顧問を置く。
- 顧問には現旧校長会に特に功績のあった方を推薦し、会長の要請ある時、各種会合に出席し意見をのべる。
- 第8条 (経費) 本会の経費は入会金・会費・事業収益・利子およびその他の収入をもって支弁する。
- 第9条 (改正) 本会則の改正は幹事会の賛成を得て、総会において報告しなければならない。

(編集注) 第5条 5. 「常任理事」とあるのは前後の関係より「常任幹事」の誤植か。

七百元。初任給の上昇(七〜八倍)を考えるとほぼ妥当か。「利息による運営」方式は低金利と郵便代の値上げにより破綻した。旧制及び新制初期の方々は拠出金より受益費用の方が多い。どこか年金問題と似ている。

他の都立高校同窓会が年会費(概ね二千元)方式を採用したが、本校同窓会もある卒業期以上は年会費化を検討する時期が来ている。

(文責 杉本安弘)

職員人事異動 (平成8年)

〈敬称略〉

定年退職

兼 太郎 校長 (平成4年)
 玉田 隆 教頭 (平成5年) 飛鳥高 (嘱託) に
 須藤 章 化学 (昭和59年) 墨田川高 (嘱託) に
 転出

新井一彦 英語 (昭和61年) 池袋商高に
 石田 豊 数学 (昭和60年) 両国高に
 黒澤正信 数学 (平成4年) 石神井高に
 中島博昭 体育 (昭和58年) 竹台高に
 長崎 正 社会 (平成2年) 市ヶ谷商高に
 橋本典子 国語 (昭和61年) 第三商高に
 国分初美 事務 (平成3年) 台東区駒形中に
 松本弘樹 事務 (平成7年) 大泉高に

転入・採用

水谷 弘 校長 教育庁より
 勝部純明 教頭 八丈高より
 高井 登 物理 大山高より
 谷 敦雄 数学 両国高より
 山田 馨 数学 小山台高より
 沼田英一 数学 大泉高より
 長船良昭 体育 東高より
 蓑田和正 社会 葛西工高より
 大川美果子 英語 足立新田高より
 秦莞二郎 書道 志村高より
 小堤孝夫 国語 大崎高より
 荒井孝子 事務 豊島高より
 藤本智仁 事務

荻島郁太郎先生 (第九代校長、昭和49年～52年勤務)

平成八年八月十日逝去されました。享年七十九。
 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

新校長 水谷弘先生にインタビュー

文京生はもっと自分を磨くべきだ

七月六日 三人の新入会員 (本年三月卒業) と校長室
 を訪問。約一時間、水谷弘校長と懇談した。

——校長先生は「15」という数字に縁があると伺いま
 したが？

校長 昭和15年生まれです。本校と同じ年です。そして
 15代目の校長になりました。東京教育大学数学科を卒
 業し、数学を教えながら最近では羽田高校長を経て二
 年間教育庁におり、この四月に本校にまいりました。

——文京生をご覧になって如何ですか？

校長 素直で明るい。しかし自分を出すのが苦手なの
 かな。もっと自己主張をしてほしい。すばらしい素質を
 持っているが、磨かずに原石のまま卒業している。

——現在の三年生から類型制ですね。

校長 平成六年度より類型制を採り入れましたね。制度
 は変えて行くべきだし、もっと他校との違いを出して
 いくべきだと思う。文京生は能力を持っています。こ
 れをもっと磨くべきだ。先生方も磨きをかけますが、
 本質的には自分で自分を磨くようにしなければいけな
 い。

前の学校の話になりますが、羽田高校はコース制を
 採用していますが、彼らは「何かを求める」姿勢を持



っています。私もよく「あなたは亀さんですか、兎さんですか」と質問しましたが、「継続は力なり」だと思います。

——部活などはどうご覧になっていますか？

校長 部活は盛んですね。昔から「文武両道」といいますから、勉強と両立させて下さい。

——教育庁におられましたか、都立高校の退潮ぶりについてはどうですか？

校長 学校群を導入して有名校つぶしをやりすぎました。都立校でも各学校のトップクラスがもう少し良い結果を出せば上昇気運にのるのでしょうが。本校でも今年からは早大に三人入る等、復調の兆がみえます。

——校長先生の高校時代は如何でしたか？

校長 よく勉強させられました。「0時間目」といって正規の授業の前に教えてもらいましたし、楽しみといえはラジオしかない時代ですから、必ず予習はしてい

きました。

また学校に自由に要望がいった時代でした。当時のカリキュラムでは「地理」がとれなかったのですが、学校に要望を出したところ「地理」の時間を設けてくれました。

——今の生徒へ注文は？

校長 今の都立高校は恵まれていますよ。この敷地・教室で生徒は三学年約千人でしょう。これが私立なら二倍の二千人は採りますよ。また今の生徒は物を大事にしませんね。鉛筆・消しゴム等落ちており、校舎を巡るとすぐ文房具が一式揃ってしまふ。

——「至誠一貫」の校訓は？

校長 誠を貫くことは人間が生きていく基本です。古いという人もいるかも知れませんが、その上に新しいものを載せていけば良く、古くて新しい言葉です。

——校歌を音楽関係のクラブ以外の人は歌う機会がありませんでしたが、もっと歌うべきだと思えますが？

校長 そういえば入学式の時「校歌紹介」で聴いただけですね。六月の体育祭でも聴かなかった。校歌は常日頃から歌うものでなにげなく口ずさむようにならないければいけない。校歌を歌う機会を増やすようにしましょう。

インタビュー／森屋アキ菜(48期B)、山中恵美子

(48期C)、石川弥生(48期G)、杉本安弘(12期C)

《好きなことをして食べていければ良い》

昭和33年3月卒（10期D）

昭和38年 東京芸術大学美術学部彫刻科卒業、新制作協会展（以降毎年出展）・昭和40年 大学院（修士）終了後、東京造形大学に奉職。昭和42年 新制作協会展新作家賞を受賞。昭和44年 新家協会展協会賞を受賞。昭和45年には新制作協会会員に推挙される。作品は文京高校のほか、渋谷道玄坂、上野公園、豊島区立秀山荘をはじめ、北は帯広緑が丘公園から、南は香川県文化会館まで全国的に設置。

Q 文京高校の正面を入れて直ぐ左側に庭園があり、先輩の「黒の海」という彫刻がありますが、どういうきっかけでつくられたのですか。

A あれは33歳（昭和47年）の時の新制作展に出品したもので、大変元気な時に作ったものです。「黒の海」と名づけたのは「生命・生命力」を表現しようとしたのです。

Q 文京時代はどうでしたか。



A 当時の文京は入学が難しい学校で、男子のクラスだったし、東大を受けようという人達もかなり居てついていけないので少しさびしい思いをしました。

はじめバレー部でしたが、豊島区立第十中学校から一緒に入った吉持昭君にさそわれて演劇部に入りました。当時、話すのが大変苦手で、セリフどりに発声するのは快感でした。同期では藤本昌史（松下電気産業）、大都一（コープかながわ）、関根五郎（九産大・教授）越中屋佐一（小松製作所）、近藤英宣（歯医者）の諸君がいます。

受験体制でもしろくない学校でした。（笑）しかし奥さんも文京の同期生ですから、そう悪口も言えません……。

Q それから芸大に入られたわけですね。

A 父が彫刻家だったもので、一浪で芸大の彫刻科に入りましたが、一方では父と同じ道へ進む反発もあり、建築家になろうとしたのですが、数学が苦手であきらめました。

大学はこんな事をしていければ良いのかと、はじめてやっている事が苦でなく楽しかった。

Q 芸大卒業後、会社には就職されなide……

A 芸大を卒業した時、丁度大学院ができたので、その第一期生になりました。修士課程終了時に、佐藤忠良先生から「東

京造形大学に「来ないか」という話があり、もう勤続30年です。造形大学に、文京卒業生も多数来てほしいです。今年の入試は絵画科と彫刻科では学科試験をなくし実技だけで評価することにしました。かつて文京から、村上正江さん（19期B）という優秀な方がいました。

（参考）今年度造形大学には二人入学（但し学科は不明）

Q 作品の石材はどこ産ですか。

A 今年の新制作協会展への出展は、宮城の伊達冠石を使おうと思っています。外が茶色で中が黒い。自然と人工の対比をテーマにしています。

Q 彫刻家の作品も依頼されて作る場合と、できたものを展示して販売する場合がありますが……。

A 依頼された場合は、その場にあわせて作るわけですが、本当は自分で好きなように作ったものが良いですね。でも売れ



母校記念造園にある渡辺氏の作品「黒の海」

るとは限りませんが……。

父はもう亡くなりましたが、明治33年生まれで昭和14年に日展に出している訳ですが、当時はロダンが入ってきて建畠大夢、朝倉文夫、北村西望などの時代ですから、人体をつくるしかない。当時は迷いはなかった。

今の時代は自分のものを見つけるのが、なかなか難しい。私の作品も若い頃は、文京にあるような曲線のものから、現代の幾何形態になるまで、いくつもの経過をたどっています。

Q CG（コンピュータグラフィックス）などを彫刻に利用できませんか。

A うちの大学もコンピュータ関連の学科をつくったのですが、自分ではまったくわからない。パソコンもできません。

CGですがイメージは平面でも絵でもいいのです。それを具体化して物で考えれば良い。彫刻は手を動かして、こしらえねばならない。身体でおぼえる。彫刻科は大学の中でも最も素朴、原始的でいつまでも肉体労働者なんですよ（笑）。

Q 彫刻の場合、作品はどこに置くのですか。

A 私の作品は相模湖町にある石の作業場に置いてあります。父の作品も、豊島区長崎のアトリエに、物置を三棟作り保管しています。

いずれは一カ所に自分の作品だけを設置しておくのが夢です。

今回のインタビューは約1時間、池袋の喫茶店でお話を伺いました。初対面でしたが、二年先輩（文京高校在校時の三年生と一年生）ということ、気やすくお話を伺いました。

なお「記念造園」は母校正門左手にあり、昭和53年卒（30期生）卒業記念と昭和22年卒（旧制三期）D組有志の卒業30周年記念として作られたものです。

インタビュー・杉本安弘（12期C）

明るくなごやかな「同窓生の集い」

(平成七年)

昨年の「同窓生の集い」は10月22日(日)午後2時から4時まで、母校視聴覚教室で開催された。約百名の卒業生が出席し、第三回ということでも楽しくなごやかな会合であった。

当日は齊藤智夫氏(29期F)の司会で開会、静谷同窓会長の挨拶に続き、衆校長・玉田教頭の両先生からのご祝辞もあり、林副会長の乾盃の音頭で開宴。恩師のご出席は菅野二郎先生・太田敏夫先生と在校OB四先生も出席。前年出演した「第二回校歌祭」のビデオも映写し、ビンゴゲームを楽しんだ。

なおこの「集い」を利用して、20期H組が卒業以来のクラス会を、12期F組を主体に「竹内先生を励ます会」が行なわれた。本年も10月20日(日)に行ないますので、皆様お誘い合せの上御参加下さい。(開催案内は表紙裏ページ下段をご覧下さい。)

卒業以来 27年ぶりのクラス会

大野 透(20期H)

平成7年10月22日(日)母校で卒業以来27年7ヶ月ぶりのクラス会を行った。そのクラス会はほんのちよつとしたことがきっかけであった。毎年郵送されて来る「紫筍」の記事の中にたまたま同窓生(江尻了子さん)の名前が載っていたのが発端であった。懐かしく思い電話をし「久しぶりに会いましょう」という話になった。たまたま「紫筍」に「同窓生の集い」なる企画が母校で開催される案内が載っていた。そこに便乗してのクラス会であった。

約20人が集まった。まさに感動の一瞬であった。話をしているうちに一人一人が回想ドラマの主人公になった。タイムスリ

ップで高校時代の思い出が手品にかけられたように、時空を超越し些細なことも新鮮な感動へと昇華していった。時のながれが魔法のように思えた。青春時代は人生の宝物のように感じた。

同窓会で人生とは楽しいものだと思った

同窓会で自分が素直になれることを知った

同窓会は時間の大切さを教えてくれた

同窓会は新しい人生観を教えてくれた

人生に夢の時間をプロデュースする同窓会

人生に心の安らぎをプロデュースする同窓会

卒業生のみなさん青春時代を語りあいましょ

卒業生のみなさん忘れかけた宝物を探しましょ

同窓会は人生のオアシスであり永遠に続く青春ドラマ

【追記】20期H組はその後盛り上がり昨年末に忘年会、今年5月には二度目のクラス会を開きました。この時は担任の太田泰弘先生も出席くだされ、楽しい一刻を持ちました。

「竹内先生を励ます会」に約20名

東谷 拓(12期F)

前年四月母校教諭となった竹内常夫君を励まそうと、昨年の「同窓生の集い」終了後、茗溪会館で標記の会を開催した。当初は12期F組として集まろうと計画、遠方より田中修一君、山田(旧姓小日向)百合子さん等がかけつけてくれたが、一・二年の時同級だったからと、長縄光男君や杉本安弘君(12期C)、滝谷敬一郎君(12期D)など、また塩田(旧姓、伊藤)全美さん(14期A)も参加し、滝谷君がビンゴゲームで獲得した静谷会長の名酒と、懐しさによるおしゃべりですっかり酔いしれた一刻でした。

今年も開催の予定。



第三回「東京校歌祭」に参加
 昨年11月18日(土)午後一時から
 五時まで日比谷公会堂で第三回
 「東京校歌祭」が開催され、我校
 同窓生も昨年に引き続き出演、二
 十二名が参加した。今回は北園
 (旧府立九中)・石神井(旧府
 立十四中)・上野(旧市立二中)
 の三校が加わり、20校の参加と
 なった。

当日は13時の開会式のあと、
 各校9分ずつの校歌披露。我校
 は四番目の出演。末正明氏(一
 期B)の学校紹介につづき、小
 森豊君(43期E)の指揮、小林
 美春さん(46期F)のピアノ演
 奏で、今回新調した校旗二本を
 壇上に掲げて、市立三中校歌「豊
 島が岡の辺神明の杜に……」と
 文京高校校歌「椎のかげ枝ふか
 く茂れるところ……」を高らかに
 歌った。

今回の参加者は次のとおり
 (敬称略)

〔二期〕末正明・八木俊雄、〔三期〕小野田孝、〔四期〕舟橋二郎
 (撮影)、〔二期〕森理・河野一郎・清水一彦、〔四期〕望月康男、
 〔五期〕林敏子、〔12期〕榎木正義・増沢一郎・滝谷敬一郎・杉本安弘
 〔25期〕渋谷弘美、〔42期〕田中典代・山下伸子、〔43期〕小森豊、〔44期〕
 桐原理佳子、〔45期〕前川直也・森田純・松本英男、〔46期〕小林
 美春

当日都合悪く不参加だが経費御協賛して下さい(敬称略)

〔四期〕静谷晴夫、〔二期〕横沢靖夫

(杉本安弘 12期C)

今年11月4日(振替) ◆第四次校歌祭 ◆

市立三中校歌、同校応援歌、文京校歌を「謳歌」しよう

今年の「東京校歌祭」も東京都の後援も得られ、参加校も駒込学
 園高校(私立)が加わり21校となります。

日時 ▼11月4日(月、振替休日) 午後1時～5時
 会場 ▼日比谷公会堂(入場無料)

演目 ▼市立三中校歌、文京校歌に加え、御希望の高い市立三中
 援歌「紫色旗の下に」も歌う予定です。是非とも旧制中学・新制初
 期の方々と現校歌が制定された昭和43年以降の卒業生は奮って御参
 加下さい。本校の場合、校歌の空白期が二十年余りありますので、
 練習会を行う予定です。過去に校歌祭及び練習会に参加の方にはご
 案内いたしますが、今年新たに出演希望者及び練習会出席希望者は
 下記宛葉書にてご連絡下さい。

〒174 板橋区小豆沢 四ノ十一ノ三 杉本安弘

市三会 創立21周年で
 初の一泊旅行、伊豆に
 菅野二郎先生の特別講義
 「韓国併合」も拝聴

同志有志のサロン「市三
 会」は恒例の秋の日帰り旅
 行会を延期して、初の一泊
 旅行会を昨年12月9日(土)～
 10日(日)に実施した。

参加者は恩師の田崎・菅
 野両先生を含め23名。三島
 大社参拝後わさび工場見学
 (昼食)。柿田川湧水とかつ



らぎ山ケーブル乗車とコースを自在に変更しながら、三津浜海岸の旅館に到着。

旅館の大広間で宴会の前に菅野先生の特別講義「韓国併合の歴史」を拝聴。韓国側から言質をとられ大臣辞任まで追いこまれたテーマだったので皆熱心にかがう。宴会では期待以上の活魚料理がお膳に盛り沢山に並べられ、美酒に酔い一夜を楽しみました。

(一期B 末 正明)

校長室に歴代校長の写真額 同窓会が寄贈

平成四年新校舎が完成したが、歴代校長額がなく、玉田教頭先生(当時)のご発案により、写真会社に勤める杉本安弘氏(12期C)の御尽力により完成、同窓会より学校に寄贈されました。

(在校OB 12期F 竹内 常夫)

バスケット部OB会に約百名が参加

7月28日、バスケットボール部OB会が開催され、約百名が参加し、体育館で汗を流した後、懇親会を楽しく行った。

発足 昭和45年、第一回OB会を開催し、本年7月28日には、27回目を迎えました。

会員 会員数もOB二百三十一名、OG二百四十五名、総勢四百七十六名を数える大所帯になりました。

例会 年に一回、七月の最終日曜日に定例OB会を開催します。バスケット部のOB会らしく体育館で汗を流し、夕方から懇親会を開催しています。

経過 部発足から永年に渡り指導を頂いた渋谷先生、又、広見・渡辺両先生の時代には、関東大会の出場を果たしました。OB会発足時から初代会長として、若尾迪治先輩(10期A)には御尽力頂いています。

今後の抱負 OB会が誕生して早四分一世紀が過ぎ、これから三十年、五十年先に向けて、運営方法・年代の変化、参加者の人数減などの問題はありますが、同じバスケット部の中で汗を流し、時には

悲しんだり、喜んだ青春の思い出をこのOB会でタイムスリップしてみて下さい。

(24期C 加藤 俊男)

神野真郎君(48期A) 浦和レッズに

今春卒業の神野君はJリーグ「三菱浦和フットボールクラブ」に入団した。彼は在校時代から「ユース」(高校生チーム)のMF(ミッドフィールダー)として活躍していたが、今春「浦和レッズ」のサテライトチーム(二軍)に入団が許され、DF(デフェンダー)として活躍している。Jリーグの試合は水・土曜日に行われるが、サテライトチームの試合は日曜日に行われる。東京にはJリーグチームがありません。皆で神野君を応援し、Jリーグでの活躍を祈念いたします。

古都鎌倉を散策 2期同期会

新制2期同期会の第三回総会が去る五月十一日(土)、古都鎌倉で行われ21名が参加した。午前10時、北鎌倉駅を出発、東慶寺、浄智寺、

円覚寺を参詣し、松嶺寺の牡丹を觀賞し料亭「花村」で遅い昼食をとる。旨い冷酒で口当りがとても良く注文が相つき、予算をオーバー。六十代半ばで食欲旺盛、健脚自慢の集まりでした。(2期A 清水一彦)

戸田豊鐵氏(第三代会長)

一期A)6月17日癌で逝去。大垣戸田藩の家老の末裔で三井金属パイプ工業(株)社長を退任後は多才な趣味を生かし、外では登山・ヨット、家では陶芸・絵画を行う。いづれもプロ級の腕前で、「チャールズ会」事務局長を勤められ優雅な生涯を送られた。心からご冥福をお祈り申し上げます。



〈校史の一コマ ②〉

今年の『紫筍』第38号において、「創立期の校舎の変遷」と題して舟橋二郎氏（四期B）に、我校校史の特徴である〈創立期の校舎・教場、校名、学制の変遷〉について記述・図示していただきました。その対象期間は昭和15年本校創立から昭和27年12月西巣鴨の地に新校舎が完成する迄であり、旧制一期～新制7期までに及びます。

今回は男女共学になった昭和25年4月の新制5期生入学から昭和38年3月第15期生の卒業まで存在した「男子組」について昭和20年～36年まで本校で教鞭をとられた菅野二郎先生（日本史）にお願いして書いていただきました。

なおこのテーマは「創立40周年記念誌」「創立50周年記念誌」にも記載されていません。（編集部）

男子校から男女共学校への変遷から見たクラス編成の考察

菅野 二郎 先生

昭和15年4月、第三東京市立中学校として、現在の豊島区西巣鴨の地に創設された東京都立文京高等学校は、幾多の変遷を経て今日にいたっている。その中でも特に大きな出来事は、校舎焼失による文京区元町小学校での間借り時代に迎えた、昭和23年4月の新しい学制施行による新制高校への移行、昭和25年4月の本校として画期的出来ごとの女子生徒の入学許可による「男女共学校」の発足といった、実に大きな変化であった。

新学制下の中学校を卒業して最初に新制高校に入学してきたのは、25年4月の生徒。この時からすべての都立高校は男女共学になった。

男子校として発足し推移してきた当時の教員の私どもは、はじめての女子生徒の入学にいささかとまどい、女子教員の採用が是非必要と迫られ、数学の中屋澄子、化学の天野（現姓、奥田）宣子、体育の小林（現姓、浦川）恵美子の三人の女教員が、25年4月に着任した。

女生徒の入学に際して問題になったひとつにクラス編成があった。男子のみを扱ってきた従来の男子教員は、当然のこととして初めて女子を含めてのクラス編成、しかも最初の女子の入学はごく少数。（私の手もとの資料では入学時の人員は確認できない。3年後の卒業時の人員68名である）したがって300人定員、6クラス編成で各クラスに配分するとなると、1クラスに10名前後の小人数になってしまう。更に考えさせられたのは、男子校として上級校進学を建前としてきたいわゆる男子校の気風も十分に考慮しなければならない。種々論議の結果、A・Bの2クラスを男子のみの組にし、他にC・D・E・Fの4クラスを男女混合組にした。その男子組は明確に位置づけたわけではないが、理科的かつ進学を前提にした強力指導組的性格を持たせた。（その当時の女子の一般傾向として卒業後は進学よりも就職希望が多かった。）

学年中2クラスを男子組とする傾向は、クラス名がA・BとかC・Dなどに変わることはあっても、6クラス

編成の13期の卒業生まで同じ傾向をたどった。更に7クラス編成の14期生、8クラスの15期生も2クラスが男子組として存続した。

16期生からは全クラスが男女組、男子255名に対して女子145名、その女子をA25・B11・C19・D10・E31・F33・G8・H8といったアンバランスに配している。どうしてこのようなアンバランスに全クラスに女子を配したか、私には不明だが、おそらくかつての男子組の考え方が温存されたのではなかろうか。

その後8クラス編成の17期生、10クラス編成の18期生、9クラス編成の19期生の場合も、アンバランスに全クラスに女子を配しているのである。昭和48年3月卒の25期生からは、男女ほぼ同数の入学数となったので全クラスにバランスよく女子を配した。その傾向はその後も継承し、男女ほぼ平等のクラス人員になったようである。

男子校から男女共学の学校への変化の中で、クラス中の男女の数を分析研究するのも、意義のあることのようにだ。

新制5期～25期の卒業生数、クラス数と男・女数の変遷

期	卒業年月	級数	男子	女子	合計
5	昭和 28 3	6	237	68	305
6	29 3	6	222	93	315
7	30 3	6	218	88	306
8	31 3	6	214	92	306
9	32 3	6	209	95	304
10	33 3	6	206	92	298
11	34 3	6	226	93	319
12	35 3	6	215	92	307
13	36 3	6	213	105	318
14	37 3	7	238	120	358
15	38 3	8	257	141	398
16	39 3	8	252	147	399
17	40 3	8	268	157	425
18	41 3	10	304	212	516
19	42 3	9	282	183	465
20	43 3	9	273	181	454
21	44 3	9	274	178	452
22	45 3	9	263	175	438
23	46 3	9	259	173	432
24	47 3	9	242	171	413
25	48 3	9	212	214	426

立正大学	6(2)	3	9(2)
立命館大学	2		2
流通経済大学	1	1	2
麗沢大学		2	2
和光大学	1(1)	1	2(1)
早稲田大学		3	3
私立大学合計	132(29)③	111(2)	243(29)5

2) 短期大学

短期大学名	現役	浪人	合計
〔国公立〕			
東京都立医療技術短大	1		1
〔私立〕			
青山学院女子短大	1		1
亜細亜大学短大	4(2)		4(2)
跡見学園短大	5(3)		5(3)
大妻女子大学短大	2(2)		2(2)
川口短大	1(1)		1(1)
川村短大	2(1)		2(1)
学習院女子短大	2		2
共立女子短大	2		2
駒沢短大	3(1)		3(1)
駒沢女子短大	2(2)		2(2)
産能短大	2(1)		2(1)
淑徳短大	3		3
昭和女子大学短大	1		1
実践女子短大	1		1
十文字学園女子短大	1		1
城西大学女子短大	3(1)		3(1)
女子栄養短大	1(1)		1(1)
杉野女子大学短大	1(1)		1(1)
成城短大	1		1
聖徳大学短大	5(2)		5(2)
帝京女子短大	3(3)		3(3)
東海大学短大	1		1
東京家政大学短大	3(1)		3(1)
東京学芸短大	1(1)		1(1)
東京女子体育短大	1(1)		1(1)
東京成徳短大	2		2
東京農業大学短大	1		1
東京立正短大	1		1
東洋女子短大	1		1
東洋大学短大	1		1
東横学園女子短大	2(1)		2(1)
日本女子体育短大	1		1
富士短大	4		4
文化女子大学短大	1		1
文教大学女子短大	1		1
文理情報短大	1		1
宝仙学園短大	1		1
明治大学短大	1		1
目白学園女子短大	1		1
私立短大合計	71(25)		71(25)

近畿大学	1		1
國學院大学		2	2
国士館大学	3(1)	1	4(1)
駒沢大学	2	2	4
淑徳大学	3(1)	2	5(1)
白百合女子大学	1(1)		1(1)
実践女子大学	1		1
城西大学	5(2)	4	9(2)
女子栄養大学	1		1
駿河台大学	2		2
成蹊大学	3(1)		3(1)
専修大学	1	1	2
創価大学	1(1)	2	3(1)
大正大学	2(2)		2(2)
高千穂商科大学	1		1
拓殖大学	6	3	9
多摩大学	1		1
玉川大学	1		1
大東文化大学	9(2)	4	13(2)
千葉工業大学		2	2
千葉商科大学		2	2
中央大学	4(2)①		4(2)①
中央学院大学		2	2
帝京技術科学大学	1		1
帝京大学	3	3	6
東海大学	2	5	7
東京家政大学	4(3)		4(3)
東京経済大学	1	4	5
東京工科大学	1(1)	2	3(1)
東京国際大学	6(1)	4	10(1)
東京女子体育大学	1		1
東京造形大学	2		2
東京電機大学	2(1)	4	6(1)
東京農業大学	1		1
東京理科大学	1①	4	5①
東北福祉大学	1(1)	1	2(1)
東洋学園大学	2(1)		2(1)
東洋大学	6	13①	19①
獨協大学	1	5	6
日本獣医畜産大学		1	1
日本女子体育大学	1		1
日本大学	5(1)	4	9(1)
日本福祉大学		1	1
文教大学	2	1	3
法政大学	4(1)	2	6(1)
武蔵工業大学		2	2
武蔵大学	2	1	3
明海大学	4		4
明治学院大学	2	1	3
明治大学	1	6①	7①
明星大学	5(1)		5(1)
目白大学	1		1
立教大学	1		1

卒業生進路状況 平成8年4月現在

1. 進学

(名)

	区 分	現 役			浪 人			合 計
		合格 者数	うち 推薦	うち 推薦	合格 者数	うち 推薦	うち 2部	
四年制大学	国公立	2	1	—	3	—	—	5
	私立	132	29	3	111	—	2	243
短期大学	国公立	1	—	—	0	—	—	1
	私立	71	25	—	0	—	—	71
専門学校		47	12	—	0	—	—	47
計		253	67	3	114	—	2	367

2. 就職

(名)

公務員	2	—	2
会社	4	—	4
計	6	—	6

学校別

注：()は合格者の中での推薦合格者数

○印は合格者の中の二部合格者数

1) 四年制大学

〔国立〕

大 学 名	現役	浪人	合計
宇都宮大学		1	1
東京学芸大学		1	1
東京商船大学	1(1)		1(1)
東京水産大学	1		1
山形大学		1	1
国立大学合計	2(1)	3	5(1)

〔私立〕

青山学院大学	2①		2①
麻布大学	1		1
亜細亜大学	1(1)	3	4(1)
跡見学園女子大学	1	1	2
江戸川大学	3		3
神奈川工科大学	1(1)		1(1)
神奈川大学		3	3
神田外語大学		1	1
学習院大学		1	1
共立女子大学	1		1
共立薬科大学	1		1
杏林大学	1		1

就 職

(1) 公務員 計2名

男子 1	自衛隊
女子 1	郵便局

(2) 会社 計4名

男子 1	旭 鮎 総 本 店 (調 理)
女子 3	大 和 証 券 (事 務) 瀧 野 川 信 用 金 庫 (事 務) ク レ ヨ ン (販 売)

サンシャイン学園専門学校	2	2
東京福祉専門学校	2(2)	2(2)
日本福祉教育専門学校	1	1
東京会計専門学校	1	1
東京国際情報ビジネス専門学校	2(1)	2(1)
東京法科学院専門学校	3	3
専門学校国際観光文化学院	1(1)	1(1)
専門学校神田外語学院	1(1)	1(1)
日本外国語専門学校	1	1
東京エアトラベル専門学校	1(1)	1(1)
東京コミュニケーションアート専門学校	2(1)	2(1)
日本デザイナー学院専門学校	1	1
東放学園専門学校	2	2
東京都板橋高等職業技術専門学校	1	1
専門学校合計	47(12)	47(12)

3) 専門学校

専 門 学 校 名	現 役	浪 人	合 計
東京工科専門学校	1		1
東京工業専門学校	1		1
日産自動車整備専門学校	1		1
日本自動車整備専門学校	1		1
東京電子専門学校	3(1)		3(1)
日本電子専門学校	1		1
板橋区医師会立看護高等専修学校	1		1
東京都立豊島看護専門学校	2		2
日本大学医学部付属看護専門学校	1		1
お茶の水医療歯科助手専門学校	1		1
日本歯科助手専門学校	1		1
東京医薬専門学校	1		1
東京栄養食糧専門学校	1		1
東京製菓専門学校	1(1)		1(1)
国際理容美容専門学校	1		1
中央理容専門学校	1		1
真野美容専門学校	1		1
東京動物専門学校	1		1
彰栄保育福祉学校	1(1)		1(1)
東京都大田高等保育学院	1		1
道灌山学園保育専門学校	2(2)		2(2)
サンシャインビジネス社会福祉専門学校	1		1

株式会社 八 洲
代表取締役
一期 B 川 上 光 男
〒114 東京都北区王子本町2-11-6
会社 Tel.03-3909-3211
自宅 Tel.03-3815-2839

弁 護 士
7 期 D 大 辻 正 寛
事務所 〒102 千代田区九段北1-9-14
九段ハイム707号
Tel.3239-4099
Fax.3221-9460
自 宅 〒274 船橋市三山1-11-15
Tel.0474-75-9401

弁 護 士
二期 D 原 田 策 司
事務所 〒104 東京都中央区銀座7-5-4
毛利ビル4F
Tel.03-3571-1780
自 宅 〒145 東京都大田区上池台3-30-1

一ッ橋印刷株式会社
代表取締役
四期 C 菊 池 達 長
会社 〒141 東京都品川区上大崎3-12-15
自宅 〒237 横須賀市湘南鷹取6-21-10
Tel.0468-66-1493

山岸税理士事務所
税理士
四期 E 山 岸 英 二 郎
事務所 〒162 新宿区下宮比町2
飯田橋ハイタウン531号
Tel.03-3266-0789
自 宅 〒247 鎌倉市今泉台6-20-2
Tel.0467-45-8033

宮本智法律事務所
弁 護 士
18 期 H 宮 本 智
〒169 東京都新宿区北新宿1-8-23
アムハードビル7F
事務所 Tel.03-5386-6911(代)
自 宅 Tel.03-3926-5354

二葉紙業株式会社
専務取締役
4 期 E 榎 本 幸 三
Tel.03-3265-6151
(自宅) 〒201 狛江市西野川2-29-5
Tel.03-3489-7591

大橋特許事務所
弁 理 士
17 期 E 大 橋 邦 彦
〒113 東京都文京区本郷5-1-16
NP-IIビル11階
事務所 Tel.03-3814-5921
自 宅 Tel.03-3957-1533

弁 護 士
25 期 F 藤 澤 知 之
〒170 東京都豊島区巢鴨3-21-16
大坂屋ビル1階
藤 澤 法 律 事 務 所
Tel.03-3949-3770 Fax.3771

<p>東京都北区議会議員待遇者 医療法人赤羽病院理事長 税理士（王子税理士会顧問）</p> <p>四期C はいばら富士雄</p> <p>〒115 東京都北区志茂1-17-13 Tel.03-3901-8554</p>	<p>高松診療所（産婦人科） 所長</p> <p>一期B 野久保 泰 徳</p> <p>〒190 東京都立川市高松町2-2-14 Tel.0425-27-3541</p>	<p>野村医院 院長</p> <p>一期B 野 村 総一郎</p> <p>〒302 取手市桑原1081 Tel.0297-74-8811</p>
<p>水谷歯科診療所</p> <p>3期E 水 谷 義 文</p> <p>病院 〒101 千代田区外神田1-16-1 万世ビル2階 Tel.03-3253-9186 自宅 〒340 草加市西町435-1 Tel.0489-28-7541</p>	<p>小室産婦人科医院 院長</p> <p>三期E 小 室 陽 一</p> <p>〒114 東京都北区岸町1-12-22 病院 Tel.03-3907-0303 自宅 Tel.03-3907-0280</p>	<p>虎の門 日比谷クリニック （皮膚科・泌尿器科・形成外科 健保扱い）</p> <p>一期C 山 中 秀 男</p> <p>自宅 〒152 東京都目黒区本町4-8-20 Tel.03-3714-9513 医院 〒105 東京都港区虎ノ門1-1-20 Tel.03-3508-2508</p>
<p>静谷歯科医院（歯科一般）</p> <p>4期D 静 谷 栄 夫</p> <p>（午前）〒170 豊島区駒込3-11-3 Tel.03-3915-1108 （午後）〒170 豊島区西巣鴨3-8-15 Tel.03-3915-0072</p>	<p>中村耳鼻咽喉科医院</p> <p>一期C 中 村 信 成</p> <p>〒262 千葉市花見川区幕張町5-252-39 Tel.（医院）043-273-7026 Tel.（自宅）043-272-6625</p>	<p>二期A 湖 山 聖 道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療法人社団 湖聖会 理事長 銀座医院 Tel.03-3541-1151 銀座健康管理センター Tel.03-3541-3340 〒104 東京都中央区銀座7-13-15 ・湖山病院 名誉院長 Tel.0545-36-2000 ・社会福祉法人苗場福祉会 理事長 老健施設 みさと苑 Tel.0257-65-3400
<p>老人保健施設 四恩苑 理学療法士</p> <p>5期E 椎 名 健 二</p> <p>施設 〒329-42 栃木県足利市多田木町1168-1 Tel.0284-91-4800 自宅 〒112 文京区水道2-11-4 Tel.03-3943-3912</p>	<p>大蔵耳鼻咽喉科医院</p> <p>2期A 大 蔵 丈 太郎</p> <p>〒170 東京都豊島区南大塚2-11-8 Tel.03-3947-8733</p>	<p>静谷クリニック（内科）</p> <p>四期B 静 谷 晴 夫</p> <p>〒170 東京都豊島区西巣鴨4-6-2 病院 Tel.03-3910-1136 自宅 Tel.03-3910-1219</p>
<p>株式会社 サトウケミカル 医薬部外品製造販売／化粧品製造販売</p> <p>4期C 佐 藤 佳 男</p> <p>〒352 新座市野火止8-16-7 会社 Tel.048-481-2323 自宅 Tel.048-474-8456</p>	<p>大橋耳鼻咽喉科医院</p> <p>5期B 大 橋 順 二</p> <p>〒114 東京都北区滝野川6-9-11 Tel.03-3916-8787</p>	<p>中村クリニック</p> <p>3期B 中 村 博</p> <p>〒170 東京都豊島区南大塚2-32-3 自宅 Tel.3944-4103 医院 Tel.3945-8072</p>
<p>昭和49年、13名で発足。現在は旧制一期～新制20期までの同窓生のサロンとして会員数は約140名。例会は毎月13日（イチサンに因む）前後に開き、既に260回を超える。入会希望者は世話人まで。</p> <p>同窓有志のサロン 市 三 会</p> <p>世話人：末 正明（一B） 川上光男（一B）、榎本幸三（4E） ※なお詳しくは末 正明まで 〒112 文京区後楽2-6-1 Tel.03-3811-0755</p>		<p>津田沼病院 院長</p> <p>8期D 梶 本 伸 一</p> <p>〒275 千葉県習志野市津田沼1-18-45 Tel.0474-79-2611 Fax.0474-79-2674</p>

<p>彫刻家・東京造形大学教授</p> <p>10期D 渡辺隆根</p> <p>(大学) 〒192 東京都八王子市宇津貫町1556 Tel. 0426-37-8111(代)</p> <p>(自宅) 〒171 東京都豊島区长崎6-18-3 Tel. 03-3957-2268</p>	<p>示現会会員 (洋画)</p> <p>2期A 若林成佳</p> <p>〒104 東京都千代田区神田佐久間町1-8 ニュー千代田ビル608 Tel.03-3255-5973</p>	<p>スペースコンセプト(株) 所長 一級建築士 日本工業大学建築学科教授</p> <p>5期B 村口昌之</p> <p>〒152 東京都目黒区中根1-3-12 第3ノアビル3F Tel.03-5701-2131 Fax.03-5701-2132</p>
<p>二期A 樋口良雄</p> <p>〒112 東京都文京区千石1-24-11 Tel.03-3942-0450</p>	<p>講談師 神田甲陽</p> <p>(平成元年山陽師匠より真打ち認可) 第2の人生をたのしくと呼びかける。 旅費さえ下されば全国どこへでも。</p> <p>3期B組 末利光 0552-53-8772</p>	<p>勝村建設株式会社 代表取締役専務</p> <p>5期D 市川英雄</p> <p>〒110 東京都台東区根岸1-2-13 Tel. 03-3876-0111 (大代表) Fax.03-3876-6900</p>
<p>ライセンス保険事務所</p> <p>1期AB 原 巍</p> <p>〒240 横浜市保土ヶ谷区仏向町874-1-11-101 自宅 Tel.045-332-0673 会社 Tel.045-312-5024</p>	<p>株式会社 経営開発センター (教育訓練・指導・分析・調査) 代表取締役</p> <p>5期E 中村昌男</p> <p>研究所 〒101 東京都千代田区神田駿河台2-3-401 Tel. 03-3295-8363 Fax.03-3295-8050</p>	<p>植村設計事務所 一級建築士</p> <p>7期D 植村邦夫</p> <p>〒113 東京都文京区白山1-29-10 Tel. 03-3811-6612</p>
<p>旅と保険の御用命は 安田火災・東邦生命代理店 (株)ボア</p> <p>2期C 横澤靖夫</p> <p>Tel. 03-3812-9890</p>	<p>古流松慶会家元・会長 千家表流茶道宗家</p> <p>5期D 若林百合子</p> <p>〒113 文京区千駄木2-31-4 (自) Tel.03-3821-9476 (勤) Tel.03-3827-7018</p>	<p>株式会社 田中建築設計事務所 代表取締役 一級建築士</p> <p>12期F 田中修一</p> <p>〒263 千葉市稲毛区稲毛東3-16-13 二葉ビル Tel. 043-246-4611(代) Fax.043-246-5698</p>
<p>旅のアドバイザー (各団体・法人講演会講師)</p> <p>2期A 河野一郎</p> <p>自宅 〒176 東京都練馬区羽沢2-13-6 Tel. 03-3993-4554 Fax.03-5340-3424</p>	<p>学校法人丸島学園 城北ひまわり幼稚園 理事長・園長</p> <p>12期A 丸島高三</p> <p>〒114 東京都北区昭和町1-8-10 Tel. 03-3800-1662 Fax.03-3893-5170</p> <p>〒116 自宅 東京都荒川区西尾久8-27-20 Tel.03-3800-2517</p>	<p>一級建築士事務所 加藤友和建築設計室</p> <p>19期I 加藤友和</p> <p>(事) 〒115 東京都北区赤羽2-56-10 Tel. 03-3903-4710 (自) 〒351 朝霞市朝志ヶ丘4-10-13-409 Tel. 048-474-2085</p>
<p>武商事株式会社 代表取締役</p> <p>10期B 武 禎一</p> <p>〒112 文京区小日向2-19-10 (会) Tel.03-3941-2621 (自) Tel.03-3943-3007</p>	<p>フラメンコ・スペイン舞踊教室 アトリエ・ラ・ダンサ</p> <p>21期G 小林伴子</p> <p>〒171 豊島区高田3-13-8 ヨシミビルB2 Tel.03-3980-5658 (自) Tel.0484-44-6627</p>	<p>くらしを考える水と空気のクリエイター 株式会社 トキタ</p> <p>代表取締役</p> <p>26期C 時田公代</p> <p>〒174 東京都板橋区坂下1-17-19 Tel. 03-3960-7701(代) Fax.03-3588-6980</p>

<p>高千穂産業株式会社 代表取締役</p> <p>10期A 若尾 迪治</p> <p>〒114 東京都北区田端3-15-3-106 (会) Tel. 03-3822-1421 (自) Tel. 03-3827-3200</p>	<p>日本自動車ジャーナリスト協会 (AJAJ) 会員</p> <p>5期B 福永 頌 (筆名 鈴木 五郎)</p> <p>〒186 東京都国立市富士見台1-28-1-35-403 Tel. 0425-77-3750</p>	<p>株式会社 末商会 (出光ガソリン・貸ビル・自動車販売整備) 専務取締役</p> <p>一期B 末 正明 (市三会会長)</p> <p>本社 〒112 東京都文京区後楽2-6-1 Tel. 03-3811-0755 Fax. 03-3815-7818 飯田橋 Tel. 03-3269-0257 神保町 Tel. 03-3261-5111</p>
<p>株式会社 齊藤商店 (精肉・食品卸) 代表取締役</p> <p>29期F 齊藤 智夫</p> <p>〒112 東京都文京区白山5-1-15 Tel. 03-3815-5771 Fax. 03-3816-2981 Tel. 03-3815-0029</p>	<p>有限会社 小室米店 ユーマート ゆしま店 取締役社長</p> <p>19期E 小室 茂</p> <p>〒113 東京都文京区湯島2-11-7 Tel. 03-3811-1085</p>	<p>有限会社 フェアリーハウス (妖精の家) コーヒー・ウイスキー&レストラン 代表取締役</p> <p>三期E 小野田 孝</p> <p>〒114 東京都北区西ヶ原4-61-11 Tel. 店 03-3949-0404 Tel. 自宅 03-3910-1434</p>

奨学基金 協力者 (1口 5,000円)

平成7年8月～8年7月 (卒期の漢数字は旧制です。)

4口	河野 進	1A	1口	浜口 宜子	6C
2口	末 正明	一B		櫻井 清	7D
	潮田與志夫	二E		中嶋 肇	7D
	清水 一彦	2A		鈴木 秀男	8B
	村口 昌之	5B		石井 禎郎	9F
	椎橋 章二	6A		田畑 寿子	10B
	尾形 佳郎	6C		鈴木 政和	10C
	小林 悦朗	7A		渡辺左武郎	10C
	宮田 淳	8B		菅野 輝男	11C
	梶本 伸一	8D		門山 栄作	11E
	高橋 勝之	10B		橋本寿美子	11F
	大柳 良伸	11A		三井 徳子	11F
	東谷 拓	12F		伊藤 博	12C
	鈴木 孝	13C		長縄 光男	12C
1口	山下 清武	一C		滝谷敬一郎	12D
	山中 秀男	一C		新正 元督	13E
	秋山 一穂	二A		初谷 宏一	15B
	木田 京平	二A		那須 妙子	17A
	小島 義郎	二C		柴山 一行	18A
	立田 柏	三A		唐橋幸市郎	18H
	吉田 豊	三A		佐々木英子	19E
	篠原 莊輔	三C		大芝 博明	19I
	藤ヶ谷敏明	三C		竹腰 満	19I
	田口 実	四A		大場みよ子	22A
	森 理	2A		野口 秀子	22G
	仲田 達男	3D		石塚久美子	23C
	芳賀 保夫	4A		持永 和明	23C
	鷺田 吉秀	4D		佐野 剛	25D
	高松 昭	5B		芹田 栄之	27A
	福木 利亘	5C		羽場 弘明	27C
	中村 訪一	5E		渡辺 知子	29C
	右高 研至	5F		高須美奈江	34C
	清野 公夫	6B			

同窓会運営協賛金等協力者

平成7年7月～8年7月

* 払込票の「その他」として、カンパ・通信費・年会費・紫筍印刷代・お茶菓子代などをいただきましたが、それらも含めました。金額は総額300,500円でしたが、個々には多様ですので省かせていただきました。(卒期の漢数字は旧制です)

柴田 善夫	一A	村口 昌之	5B	小山 迪子	13E
渡辺 元	一A	椎名 健二	5E	原田雄一郎	14E
篠原小史郎	一C	中村 訪一	5E	新宮領 篁	15E
山下 清武	一C	右高 研至	5F	大橋 邦彦	17E
堀口 壬也	二B	椎橋 章二	6A	落合レイ子	17E
小島 義郎	二B	浜口 宣子	6C	野口 末子	18G
田村 嘉男	二E	小林 悦朗	7A	梶野 茂男	19A
藤原 滋	三A	高野 久子	7A	田代 昭子	19A
藤ヶ谷敏明	三C	増田 操	7A	佐々木英子	19E
小室 陽一	三E	大倉 邦夫	7B		
田口 実	四A	鈴木 秀男	8B	大場みよ子	22A
牧 宗一郎	四B	鹿島 智己	8D	持永 和明	23C
		梶本 伸一	8D	宮川美知子	25C
徳納 賢一	1AB	毛利 寿男	8E	佐野 剛	25D
清水 一彦	2A	小松 征子	8F	亀井 威延	25E
浜田 矩彦	2B	神谷 正行	9D	泉水 純子	26F
関根 光雄	3E	石井 禎郎	9F	羽場 弘明	27C
石原 信一	4A	鈴木 政和	10C	栗原とし江	29B
田口 栄一	4B	小田 治俊	10D	渡辺 知子	29C
磯部甲太郎	4D	内藤 文雄	10D		
斎藤 正博	4D	箕輪 恵三	10E	宮崎 茂幸	34I
鈴木 博美	4D	青山 一郎	11C	野呂 知英	38I
榎本 幸三	4E	門山 栄作	11E	齊藤ひとみ	40H
加藤 能久	4E	橋本寿美子	11F		
望月 康男	4E	三井 徳子	11F		
高松 昭	5B	久我 明子	12A		

平成7年度同窓会会計報告

(平成7年4月1日～平成8年3月31日)

会計 太田 敏夫 (3期A)

〔財産目録〕	
〔預金合計〕	38,822,553円
基本財産(信託預金)	28,800,000
奨学基金(含む累積利息)	6,597,719
会館建設基金(含む累積利息)	3,424,834
〔物品〕	
書庫4・金庫2・手提げ金庫1・机2椅子1 ストープ1・カメラ3・三脚1 ワープロ1(シャープ書院WD-X800)	
〔収入合計〕 11,449,563円	
前年度繰越金	4,068,221
入会金(終身会費)	4,913,176
(14,000×352名)-824円	
預金利息	518,755
賛助金・奨学金・運営協賛費	1,553,411
同窓生の集い会費	396,000
(3000×127名)・寄付・祝儀	
〔支出合計〕 6,707,093円	
名簿発行	1,880,240
(3,400×470冊)・枚葉(390組)	
名簿コンピュータ化費用	206,396
会報〔紫笥〕印刷・宛名書・ 郵送料・振込書・封筒他	2,527,262
中学校宛学校案内	399,125
(2500部)・ポスター(100枚)	
奨学金交付(図書券)	400,000
(10,000×40)	
部活動後援(在校生)	20,000
進路報告はがき(500枚)他	135,013
同窓生の集い開催直接費	251,984
慶弔費	0
幹事会	106,299
(通信費・茶菓・交通費)	
運営費	230,774
(通信費・交通・記録・用品等)	
予備費	50,000
(校歌祭参加後援)	
〔積立金〕基本財産	500,000
〔繰越金〕	4,742,470円

監査の上正確であることを認証します
平成8年4月11日

八木 俊雄 (印)
河野 一郎 (印)

平成8年度同窓会予算

(平成8年4月1日～平成9年3月31日)

会長 静谷 晴夫 (四期B)

〔財産目録〕	
〔預金合計〕	39,922,553円
基本財産	29,800,000
(+1,000,000)	
奨学基金	6,697,719
(+100,000)預金利息含まず	
会館建設基金	3,424,834
(据置)預金利息含まず	
〔収入合計〕 12,107,470円	
前年度繰越金	4,742,470
入会金(終身会費)	5,075,000
(14,500×350名)	
預金利息	500,000
賛助金・奨学金・運営協賛費	1,400,000
同窓生の集い会費	390,000
〔支出合計〕 9,180,000円	
名簿発行	2,000,000
名簿コンピュータ化費用	1,200,000
会報〔紫笥〕発行	2,700,000
中学校宛学校案内	500,000
(4000部)ポスター(200校)	
奨学金交付	300,000
部活動後援	50,000
進路報告はがき	40,000
同窓生の集い開催費	340,000
慶弔費	50,000
幹事会	100,000
(お茶代・交通費・通信費)	
運営費	300,000
(通信・交通・記録・用品等)	
予備費	500,000
(校歌祭・調査費・その他)	
〔積立金〕基本財産	1,000,000
奨学基金	100,000
〔繰越金〕(期初運営費)	2,927,470円

編集委員

編集長 杉本安弘 (12期C)
飯沼美雄 (23期C)
森屋アキ菜 (48期B)
山中恵美子 (48期C)
石川弥生 (48期G)

編集後記

暑い夏でした。アトランタ五輪、甲子園の高校野球、混バ・乱セのプロ野球と睡眠不足の八月でした。▼私事ながら、娘たちから「英語の実地学習」にと挑戦され、八月上旬には初の海外家族旅行。そんな中での編集作業でした。▼西暦二千年は母校創立六十周年です。今まで正史(40周年記念誌「50周年記念誌」)では取り上げていなかった「男子組」(5期〜15期)の誕生と解消迄の歴史を、恩師菅野二郎先生に書いていただきました。旧制一期生もそろそろ古稀。我校もすっかりした「記紀」を作成しましょう。▼「紫笥」がきっかけで感動的なドラマがありました。昨年の「紫笥」直撃インタビューでフラメンコ舞踊家、小林伴子さん(21期G)を取材する為、同世代の江尻了子さん(20期H)に同行をお願いしたところ、その記事を見て同級の大野透氏がすぐ江尻さんに電話、昨年の「集い」で卒業以来初めて27年ぶりの「20期日組」のクラス会が開催(詳細は8頁に)。本年も「紫笥」からドラマが生まれることを期待したい。▼本号では極力多くの方の御名前を載せました。この会報が同志会のコミュニケーション

誌となることを願っています。▼同窓会の現状と今後の課題について2〜3頁に特集。四年目に入った「静谷体制」。その運営は安定し着実に成果は上がっています。しかし役員は固定化・高齢化しています。お神輿は多くの方が楽しくかつぎまわった方がよいと思います。▼最近、日常生活を離れ40代では異業種交流会、50代では四国巡礼の旅が静かなブームです。戦後50年を経て、価値感の変化・減私奉公的勤務への反省・益々進む国際化等・インターネットへの熱気等、時代は確実に21世紀に向かっていきます。その中で「同窓会」を再認識されたら如何でしょうか。単なる懐古趣味ではなく、利害を離れた異業種交流の場であり、先輩の生き方を知る場となるでしょう。そして新しい友情が生まれる場となるでしょう。▼本号は感動をもって編集しました。50代なかば、頭で考える程、筆は進まず、印刷所の気配りに助けられた形。会員諸兄の建設的意見を!

(杉本安弘)



『紫笥』

第39号・1996年

発行・平成8年9月10日

発行者・東京都立文京高等学校同窓会『紫笥』編集委員会

〒170 東京都豊島区西巣鴨一丁目一番五号 東京都立文京高等学校内

印刷／シミズ印刷